

21世紀に
伝えたい
ちばの魅力 No.23

山間に開かれた美しい
大山千枚田



全国棚田サミットの開催で、注目を集める大山千枚田



ゴールデンウィークに行われる大山千枚田の田植え。早場米産地の鴨川市では田植えは早く、3月に始まるところもあります

棚田はどうやって作られたの？

千葉県最高峰・愛宕山あたごのすそ野の緩やかな斜面に、扇状に広がる大山千枚田があります。1枚1枚大きさが異なる小さな田んぼが375枚。総面積は3.2haです。畦の曲線の美しさ、農村の原風景を思わせる懐かしさは訪れた人々を魅了します。山地や丘陵地に階段状に開かれたこうした水田は「棚田」や「千枚田」と呼ばれています。

大山千枚田がいつ頃できたのかははっきりとはわかりませんが、鎌倉時代にはあったのではないかと考えられます。鎌倉時代の資料「吾妻鏡」に、幕府が戦で荒廃した安房の国の開墾を命じたとの記述があります。在地の領主たちは水田開発の手を山間

部にまで広げ、勢力を伸ばしていきました。現在、大山地区の田んぼのうち約8割は棚田です。

湧き水などの水源がない大山千枚田はすべて雨水に頼る「天水田てんすいでん」です。この辺りの重粘土質の土は保水力に優れ、水田づくりに適しています。田の底やくろ(あぜ)の部分土をしっかりと塗り固め、水もれを防ぐことが重要です。

大山千枚田は農林水産省認定の「日本の棚田百選」の中で唯一の完全な天水田です。今年3月には特に景観に優れている点が評価され、県の文化財(名勝)にも指定されました。



- 交通 JR安房鴨川駅からバス「釜沼」下車、徒歩約15分

※大山千枚田はすべて私有地です。マナーを守って見学してください。

- 大山千枚田保存会H・P

<http://www.senmaida.com>

棚田1枚のお米ってどのくらい？

2月初旬、米づくりは田んぼのくろ塗りから始まります。雨水をため、平均気温が15度くらいになると田植えです。品種はほとんどがコシヒカリで、4、5本の苗を1株にして植えます。夏場は雑草の草刈り。害虫や稲の病気にも注意します。9月上旬、黄金色の棚田でいよいよ稲刈りです。束にした稲穂をはさ木にかけて天日に干し、脱穀・調製(もみすり)をして玄米に、さらに精米して白米になります。1畝(約100m²)当たり白米で約40kgの収穫があります。

棚田は1枚の面積が狭く傾斜地にあるために大型機械が使えず、耕作に手間がかかります。農村の過疎化や生産調整で全国的に減少しています。鴨川市では耕作を続けることで美しい大山千枚田を保全し、地域おこしに活かすために棚田オーナー制度を導入しています。



刈り取った稲は、はさ木にかけて昔ながらの自然乾燥

● まだまだあります！県内の主な棚田

鴨川市／曾呂西地区、曾呂畑地区、曾呂代地区
安房郡富山町／吉沢地区
三芳村／増間地区
丸山町／大井本郷地区、大井上地区
和田町／黒岩地区
千倉町／大貫地区、千田地区

棚田が町おこしに役立ったの？

棚田オーナー制度は、地権者の農家から農地を借りた鴨川市がオーナーと利用契約を結ぶものです。最も都心に近い棚田として年々人気が高まり、オーナーには県内外から応募があります。今年度は136組が決定しました。県内在住者が約6割を占めています。年間利用料は100m²当たり30,000円で、最長で5年間継続することができます。

オーナーたちへの農作業の指導など、運営にあっているのは大山千枚田保存会です。大山千枚田



畦の草刈りは夏場の大切な作業です



春の自然観察会。トウキョウサンショウウオの産卵がみられます

は、田植え、草刈り、稲刈りなど実際の農業体験を通じて都市住民のオーナーたちと地元住民との交流の場になっています。保存会は、単に棚田を保全するだけでなく、21世紀の新しい農村と都市のあり方を広く発信していきたいと、自然観察会を開くなど精力的に活動しています。将来、就農や定住促進で地域を活性化させる大きな期待がかけられています。

●棚田オーナー制度へのお問い合わせは、みんなみの里まで ☎0470-99-8033

棚田サミットって知ってる？

全国にある棚田は13,000か所あまりで、新潟県、岡山県、大分県、長崎県などに多く見られます。観光地としては輪島市の「白米の千枚田」が有名です。棚田のある全国73の地方自治体などが加入している全国棚田(千枚田)連絡協議会は平成7年から「全国棚田サミット」を毎年開催しています。棚田の多機能性、重要性を広くアピールする場です。生産の場である棚田は、保水や洪水を防ぐダムの機能もあります。また地すべりを防いだり、優れた景観をもち文化的価値も再評価されています。

今年は8月30日～9月1日まで鴨川市で開催されます。テーマは「棚田と都市・保全と共生」です。特に最終日は特設ステージショー、郷土料理教室、一日環境大学など一般向けの楽しいイベントもあります。

●棚田サミットへのお問い合わせは2002年全国棚田サミット実行委員会事務局まで ☎0470-93-7834(鴨川市農林水産課)



大山千枚田近くの鴨川市総合交流ターミナル・みんなみの里。サミット期間中、ますますにぎわいが予想されます。食事もできます

お米はどこから伝わった？

稲作は今から6000年～5500年前に中国・長江の下流域で始まり、朝鮮半島を経由し、縄文時代晩期に九州北部に伝わったという説が有力です。福岡県や佐賀県で水田の遺跡が発見されています。その後日本列島に普及し、弥生時代中期には南関東にも伝来したと考えられています。



稲作の技術が発展すると、静岡県とろろの登呂遺跡に見られるようなかんがい水路を備えた大規模な水田が造られました。採集生活から生産生活へと移り変わり農耕社会が整ってくると、環濠集落かんこうが出現します。特に有名なのは佐賀県の吉野ヶ里遺跡です。千葉県内では佐倉市の台地むつさきのおかきで六崎大崎台遺跡が発掘されています。直径140mの濠(堀のこと)に囲まれ、弥生時代中期の153棟の建物跡が見つかっています。

千葉の米どころ

平成13年、千葉県全体の品種別作付比率はコシヒカリ(67.3%)、ふさおとめ(14.7%)、ひとめぼれ(5.7%)、あきたこまち(4.7%)などです。

全国農協中央会の「米づくり100選」に鴨川市と多古町が選ばれています。ほかに山武郡や印旛郡などで稲作がさかんです。



大山千枚田でとれた米を使った清酒や長狭米のおかきなども販売されています

伝説と景勝の地 KAMOGAWA シーサイド

伝説の島を探検しよう



手こぎ船に乗って渡る名勝・仁右衛門島は周囲4kmほど。源頼朝が隠れていたという洞窟や日蓮聖人ゆかりの地などがあります。自然観察にも適し、珍しい帰化植物のキンギンナスビの実が晩夏から秋にかけて見られます。交通/JR太海駅から乗船場まで徒歩約12分

市内の夜景を楽しもう

太平洋を一望する魚見塚展望台からの市内の夜景も美しいものです。展望台にある女神像を囲むフェンスに、誓いの証としてカギをかけていく人が増えました。そこで今年「誓いの丘」と名前も新たにし、「新名所」になっています。交通/JR安房鴨川駅から車で約10分



渚をのんびり散歩しよう

日本の渚百選にも選ばれた前原・横渚海岸は年間を通じて人気のビーチ。ヤシの並木が続く

南国ムード満点の海浜プロムナードは、夜はガス灯風の街灯でロマンチックに演出されます。交通/JR安房鴨川駅から徒歩約5分



高台の公園で汗を流そう

いっせんば 一戦場スポーツ公園にはボードに乗って滑り降りるスーパースライダーやテニスコート、ローラースケート場などがあります。公園の名前



は源頼朝の伝承にもとづいています。交通/JR安房鴨川駅からバス「八岡」下車、徒歩15分

鎌倉時代を感じてみよう

鏡忍寺は日蓮聖人ゆかりの寺です。1264年、布教の旅の途中で地頭の東条景信に襲われた日蓮一行。



その「小松原の法難」の地に建てられました。名木「降神の榎」があります。交通/JR安房鴨川駅からバス「鏡忍寺入口」下車、徒歩約5分

トピックス ◆鴨川市文化財センター／平成13年にオープンし遺跡の出土品を収蔵するだけでなく、一般に公開する常設展示室があります。年に1、2回は企画展を開催。郷土資料館が隣接。◆吉保八幡社のやぶさめ／9月28日(P2地図参照)



☆鴨川市観光協会 ☎0470-92-0086 <http://www.awa.or.jp/home/paradise/>

